

## ◆◆◆◆ 総 評 ◆◆◆◆



審査委員長 渡辺 和枝

2023年8月9日、迷走する台風に開催を心配する中、実行委員会をはじめ皆さまのご尽力により、岡山にて無事にガールズ・サミットを開催することができました。

今年のテーマとなった「夢を拓（ひら）く」は2015年度に国際ソロプチミストアメリカに導入されたプログラムで、取り扱うトピックには、キャリア・チャンス、目標を設定して達成すること、さらには、成功に向け障害を克服すること、失敗や挫折から立ち直り前進する方法などが含まれます。今回は、時間的な制約もあり、一部のセッションのエキスのみを実施することとし、不足の部分については基調講演で取り上げることで、全体の流れを理解してもらうことを意識しました。

基調講演では、サブテーマにある「自分らしく」＝「自分の価値観を見極める」を理解してもらうこと、さらには、今後、男女差別をはじめとする様々な障害に直面することがあるであろうということ、そして長年の教員の経験から、自分の夢を叶えた学生の事例を紹介することを組み込みました。ユースの皆さんがメモを取りながら、また、大きくうなずきながら真剣な目をして聞いてくださったことに感激しました。

「夢を拓く」セッションの実施では、自分自身に向き合うことにより、自分の価値観を自覚し、価値観とキャリアを結び付けることを実際に行ったあと、夢と現実の溝を埋めるために、達成可能な目標の設定の仕方・具体的なアクションステップの作成練習を取り入れ、また、ゲームを通して失敗を疑似体験し、レジリエンス（問題解決力）を身に付け、失敗を違った視点から見ることで成功に変えることができることを考えてもらいました。グループワークを通し、話すことで自分の考えが明確になり、また他のメンバーの発表を聞くことによって、「自分らしさ」をより実感したのではないのでしょうか。開始時に決めた「グループの基本ルール」は、それぞれのグループの特徴が表現されており、何よりも、自分たちで決めたルールが最後まで守られていたことから、真摯に取り組んだことがわかります。

プログラム最後の発表では、各グループでの話し合いの結果はもちろん、個々のマイルールを発表する姿が自信満々であったことが印象的でした。

今後、人生の選択を迫られたときに、また、夢を実現しようとするときに、この経験が問題解決の一助となれば幸いです。